

重信川と私たち

なるほど、これが私たちに多くの恩恵を与えてくれている重信川だ。私は、重信川と表川が合流する上重信橋のたもとで、石丸先生のお話を伺いながら、大きく広がるわが重信町と重信川を、はじめて見るように見渡した。と同時に、ここに移り住んで20年になるのに、この町や川についてほとんど無知であることに気が付き、恥ずかしく思った。

江戸時代に水田面積が広がるにつれ、この流れの取水をめぐって度々争いがあり、さらに天候不順による凶作などで、我々の祖先は苦しんだ。当時の苦難に思いを馳せながら、下林の餓死萬霊供養塔（1732年）に手を合わせた。やがて、下林の小山友近は野中道助の協力によって、県内最大で、10メートルもある余水吐や、人間が通れるほどの底樋のある佐古谷池を作り（1845年）、水問題は解消したが、時が流れ、今ではさらに多くの水が必要となり、この貴重な大池をこわしてダムを作らなければならなくなったそうである。ダム建設にはとかくの問題があると聞いている。これ以外に解決方法はないのだろうか。

一見きれいに見える重信川の水も、山あいのさわやかな音を立てて流れる小さなせせらぎも、昔の水とは違ってしまった。よく見ると泡が多く、水の富栄養化が進んでいるという。農薬の浸出や様々な排水の垂れ流しにより、富栄養化や汚染が進む一方であるし、また決して無限ではない水を日々無神経に無駄遣いしてしまっている。

当面の便利さ、豊かさだけを追い求め続けてきた代償として失ったものも大きい。どこまで私たちは豊かさを求め続けるのだろうか。豊かさとは何だろう。この辺で考え直さなければならない。（1994.4.18, Y.）





「くらしの学習会」に参加して

12月に、宇和島から砥部町に引っ越してきました。この度、こちらに来るに当たって、どうしても「水」のことが忘れられず、重信川で水について、熱心に調査している人が居るとは知ってはいたけれど、はて？さて、お名前は？と、あちこち聞いてみたけれどわからなくて、重信町役場でいろいろお話を伺いました。そこで、重信町で熱心に水について勉強しているグループがあると教えていただきました。

早速、3月23日に、石丸先生をお招きしての講演会に参加させていただき、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。突然の飛び入りにもかかわらず、「くらしの学習会」に参加させていただき、また会員の一人としてこれからも、一緒に勉強させていただけることとなり、大変嬉しく思っております。頼りない私ですが、これからもよろしく願いたします。

私と水との出会いは、2年ほど前に、ある仕事に関わってからです。それまで浄化槽については、まったく興味はなかったのですが、東宇和地区では、合併浄化槽にたいして、とても熱心に取り組んでいて、いかに大切で、水を守るためにどうすればいいのかetc.特に、野村町では合併浄化槽に対して、また婦人会の活動もとても活発で私もなんののかんのといっても、無関心でいられなくなりました。特に、管理士さんの熱心さ、浄化槽の中を見れば、その家庭の健康状態を知ることができるとまでいわれました。不良の浄化槽に対する取組もとても熱心です。

川に入っの微生物の研究から、浄化槽の点検の仕方まで、ずいぶん貴重な経験をさせていただきました。この経験を無駄にしたいくない、いつまでも忘れず、いつまでもきれいな水であってほしい、これからの子供達にとっても、いい環境を残してあげたい。

一年足らずの仕事で終わってしまい、中途半端に終わってしまいましたが、そこで出会った管理士の小玉さんが、忘れられず、私もなんとか、水に関わりを持って生きたいと思っていました。何年かかってもいいから、管理士の免許は私も持ちたいと思っています。かなり厳しいものがあるでしょうけれど、挑戦してみたいです。私の住んでいる砥部町でも、合併浄化槽の取組みはとても熱心ようです。こちらの家を購入した時、合併浄化槽がついているので、とてもうれしかったのですが、残念ながら不良だと言われ、ショックでした。

合併浄化槽はかなり普及してはいますけど、私の家のように、不良であるとか、いろいろな問題も数多く出てきているのではないのでしょうか。浄化槽は、正常な働きをしてこそ、きれいな水になるわけで、その役目を果たしてなかったら、なんの効果も無くなってしまいます。これからいかにして、我家もこの不良浄化槽に取り組むか業者とのやり取りも大変ですが、このまま放っておくわけにもいかないので役場とも相談しながら進めていきたいと思っています。

水に対していかに取り組むか、奥が深く大変だけど、それだけに興味もあるし、学習会でたくさんの方のことを教えていただきたいし、触れさせてもいただきたいと思っております。

(大西 康代)

楠先生宅を訪れて

——トンボは水の見張り番——



南日本自然史研究所の楠 博幸所長にお話しを聞かせていただくチャンスに恵まれ、石手にあるご自宅を訪れました。お庭に入ったとたんヒンヤリとした清涼しい空気が流れ、まるで森林にいるようだなあと感心しきりでした。

すでに松山淡水ベントス研究所桑田一男所長もお見えになっていて、お二人から貴重な話をさせていただきました。

私達が住んでいる重信町では「松山平野で最も多様な生態系が残っていた上重信橋付近の三か村泉やそこから流れる清流や雑木林の一带に、県内でも唯一オオカワトンボなどの貴重な生物が生息していたが、町内の農業用水路改修の為、伐採・破壊され、壊滅的な打撃をうけている」との新聞記事を見、自分の住んでいる足元ですばらしい自然が破壊されていることを知りました。でも、地元の人達の要望で水路改良が行われたこと、「虫や草がなくなってきれいになってよかった」とか言われているそうです。

しかし、水中の昆虫は水や木や草があってこそ生息できるのです。楠先生曰く「トンボは水の見張り番」と。トンボのいる川や泉の水は「人が飲んでも安心だよ」と知らせているのだそうです。重信町のように地下水を水道源としているところは、水源である川や泉を大切にしていかなないと安心して水道水を飲めないし、水の供給も難しくなってしまうのです。

「現在楽をして、後世のことは知らない」では、あまりに身勝手ではないだろうか。

今、私達が現状維持の為の努力をしなければ、自然を後世に残すことは不可能になっているのです。楠先生は、50年以上自然を守るための活動を行ってきて、今まで、自分のやってきたことが生かされない現在の状況に「むなしさ」を覚えていらっしゃるそうです。でも、負じと、子供達が科学の目を養ったり、自然の厳しさのなかで生きる姿を見せる場所として、野村町で「蝶の楽園」を作られたり、「古代植物の楽園」を作ろうと意欲満々で毎日忙しくされています。楠先生の元気をわけていただいて、お宅を後にしました。(A.M.)

名水の里重信パネル展

標記パネル展および講演会「名水鑑定人 重信を歩く」に多数の方々のご協力と参加をいただき、いずれも盛況の内に終わることができました。ここに紙面をお借りしてお礼申し上げます。

なお、「パネル展」開催にあたり、皆様にご協力いただいたアンケートの結果を同封しておりますので、一読していただければ幸いです。佐々木 健先生の講演会の内容につきましては、次号に詳しく掲載する予定ですので来られなかった方はご期待ください。

麦秋バザーに参加して

去る5月23日、志津川グリーンタウンのHさん宅でガレージセールを行いました。天候に恵まれて、おかげさまで目標額に達成することが出来ました。バザーが無事終わり、ホッと一息つくかつかないうちに 会員中心メンバーの皆さんは、パネル作りの打ち合わせをしていました。

会員歴2ヶ月と言う私の初めての参加行事が、今回のバザーと佐々木先生の講演会のうちあわせでした。熱心にうちあわせをしているメンバーの話から佐々木先生が、どんなに多忙な方で、そのお話がどんなにすばらしいのか、少しですが、理解できたように思います。

会員のほとんどが、無収入の主婦層にとって、不用品と手作りのバザーの売り上げが、唯一、資金源になります。講演会のための各種印刷費用、パネル作りの費用等、今回のバザーの売り上げで賄えると聞いて、私も、戦力になったかなと自負しています。

生まれも育ちも重信と言う私にとって、「重信の水っていいのよ。ある地区のなんて、四万十川にだって負けないのよ。」と言ってもらった時の驚きとうれしさ。実は、私が、会員になったのは、友人のこの一言なんです。

「重信の水っていいのよ。」いい言葉だと思われませんか。

(M. T.)



緊急 泉見学会

(8月例会)

1993年度 ぐらしの学習会 会計報告

収入	
会費	2,000 × 13 = 26,000円
カンパその他	4,200円
	30,200円
支出	
会報印刷代(4回)	10,880円
講師お礼等	4,944円
事務費	4,785円
写真代	3,384円
ガソリン代	4,051円
	2,000円
	30,044円
差引合計	158円

(次年度へ繰り越し)

またひとつ、ふるさとがなくなりました。パネル展でも紹介した、竜沢泉にブルトナーが入り、改修が始まりました。あの清らかな水辺とていれぎは一瞬の内に姿を消しました。

下記日程で、いまや自然のまま残されているほとんど唯一となった三か村泉と、今回工事の手の入った竜沢泉などを見て回りしたいと思います。

とき : 8月17日(水) あさ8時半

ところ : 重信町民会館前集合

皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。

会員募集中!

ぐらしの学習会では一緒に活動する仲間を募集しています。会費は年2千円。いつでも入会できます。お問い合わせは

ぐらしの学習会

重信町西岡599-68 丸井方

TEL: 64-0828

(あるいは、林: 64-6956) まで

編集後記

盛夏にあって、春の号(!!!)をお届けし、原稿を早くから寄せて下さった方々、選んだけれど、すみません。

パネル展が無事終わってホッとしていたところへ竜沢泉がっつりおいたニュース。すべてが遅すぎたのか……と落ち込んでいる、守らねばならぬ三か村泉だけでも守りたい。切実に思う。 (外)

